

江府町地域おこし協力隊通信



ふくしま すくる
福島 優

新甘泉（梨）推進マネージャー
（活動内容：新甘泉の栽培技術の習得、梨園の管理など）

本格的に寒くなり梨の樹も落葉し、来年に向けての第一歩である剪定作業を始めました。また、病気などで傷んだ樹も散見されるため、専門家の先生に相談しつつ治療や対策を施しています。江府町の寒さが原因か記録的な猛暑が原因か、はたまた別の問題があるのか、何も言わない樹だからこそ小さな変化も見逃さないよう気を付けたいものです。ちなみに休日を利用して柿の勉強も始めました。同じ「果樹」でも考え方や育て方の違いがあり、難しい事も多いのですが勉強しがいがあると思います。



やまだ あさひ
山田 朝陽

奥大山フランド推進コーディネーター
（活動内容：奥大山フランド商品の発掘、開発支援など）

早いことに、地域おこし協力隊の任期があと 3ヶ月で終わります。地域おこし協力隊としての 2 年半は慣れない部分も多く、自分としては不甲斐ない結果に終わってしまったなと感じています。しかし、少しでも江府町で得た経験を基に今後の生活に活かせることができればいいなと思っています。この 2 年半を少しでもモノにして後悔で終わらせず、昇華させたいです。



あんどう のぞみ
安藤 希

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務など）

皆さんは、「ノラネコくんだん」の絵本をご存知でしょうか。生徒にも人気のようで、日野川校舎の図書館にぬいぐるみを置いてみました。文化委員の発案で愛称を募集したところ、「まだニヤイ」になりました。生徒の自主的な意見を今後も取り入れていきたいと思っています。10 月には、日野川校舎とスナの森校舎をインターネットでつないでいる「窓」と名付けられた大画面を通し、スナの森校舎の児童へ向けてフックトークをしました。私の話に子どもたちが熱心に耳を傾けてくれたことは大変嬉しく、感謝しています。



今年は、東北・北陸地方を中心にクマの出没件数が多くなっています。その影響から、以前は山仕事をする限られた人のみが購入していた『クマよけスプレー』が一般の人にも売られているようです。簡単に購入でき、簡単に使用できるクマよけスプレーですが、取り扱いには注意が必要なグッズですので注意点を紹介したいと思います。

まず、クマよけスプレーは、虫よけスプレーのようにクマを寄せないようにするものではありません。クマから攻撃を受けそうな緊急時に使用し、噴射される辛さ成分でクマをひるませるものです。

この辛さ成分ですが、対人間用催涙スプレーの約 230 倍の強さです。

噴射距離は 7m 程度で、メーカーや風向きによってかなり変動します。風下でスプレーを使用

獣害対策
レポート

第 30 回
クマスプレー
の注意点

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
【問い合わせ】0859-72-1399

利用した場合、噴射距離も短くなり、かなり強力な辛い成分が自分にもかかるので注意が必要です。

クマよけスプレーの効果は十分に発揮するためには、かなりの至近距離までクマを引き付ける必要があるのです。そのため、とっさの場面で使用できるように取り出しやすい位置で携帯し、すぐに構えられるような練習も必要です。

このようにクマよけスプレーは、クマからの攻撃を回避する手段としては有効なグッズですが、効果を十分に発揮させるにはスプレーの最大噴射距離の理解や、とっさに構える練習など実際の使用を想定した事前準備が必要になります。

このように、クマよけスプレーは緊急時の最終手段です。まずはクマと出会わない対策を整えたいものです。

